

議会改革度調査2015

議会と住民が対話する場 とその充実

今回の調査で重視したポイントは、PDCAサイクルと住民が議会に参加する取り組みです。
その例として「議会と住民が対話する場」について解説します。

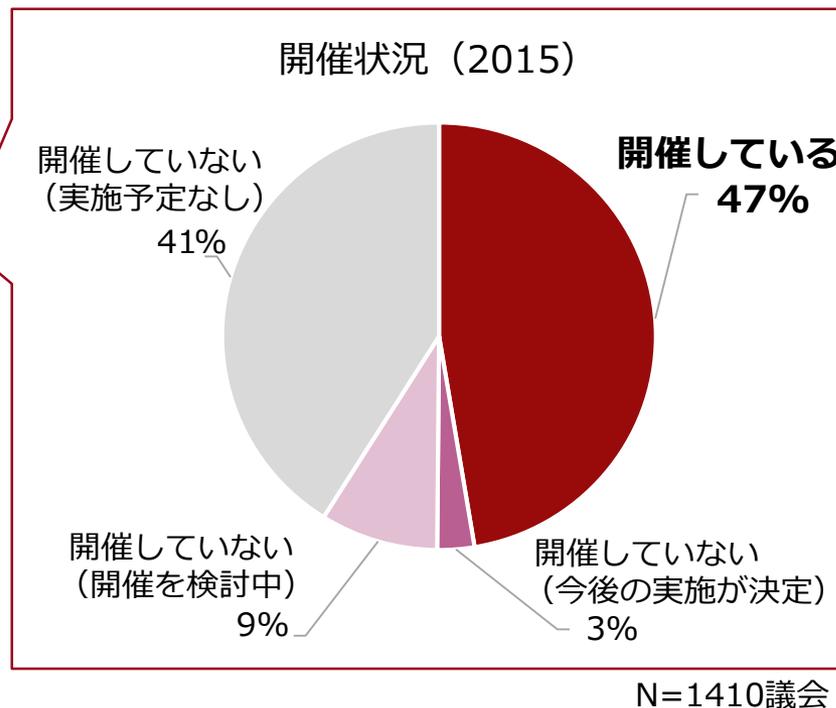
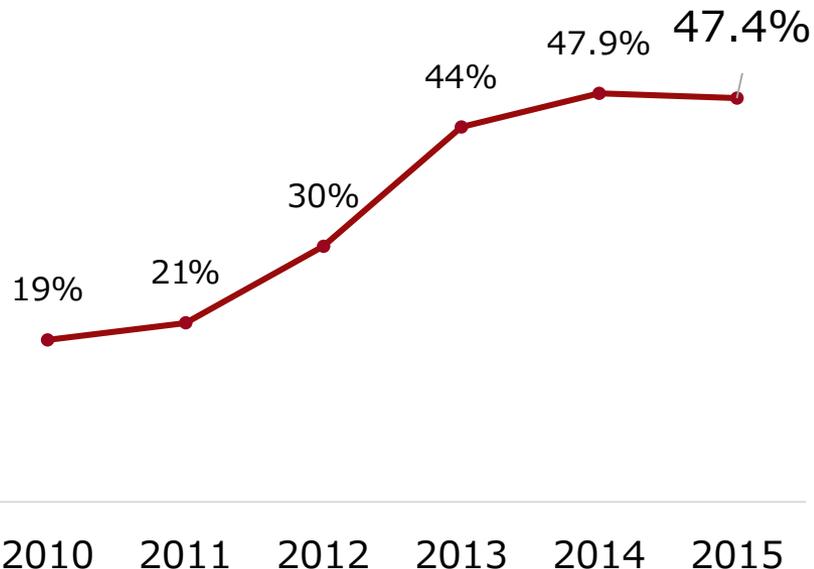


早稲田大学マニフェスト研究所
議会改革調査部会

議会が住民と直接対話する場

議会報告会（※）などの「議会が住民と直接対話する場」を開催している議会は昨年度とほぼ変わらず。

＜ 議会報告会等を開催している議会の割合 ＞

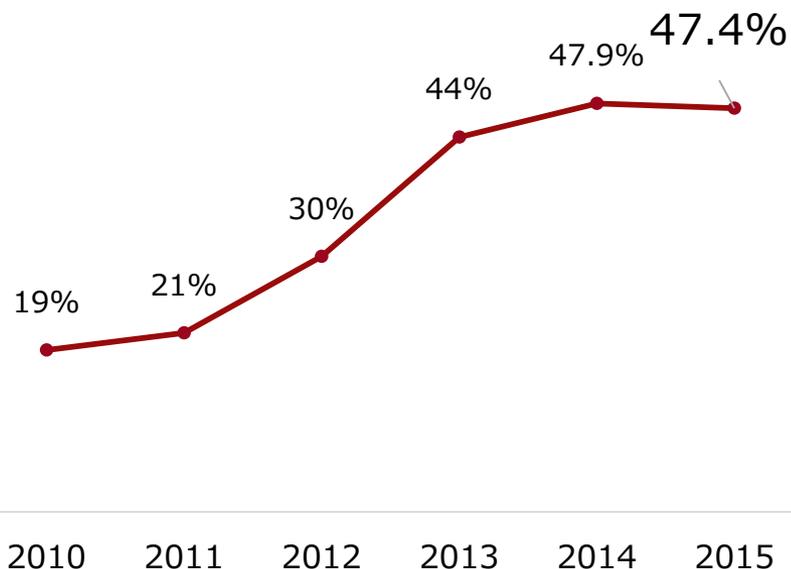


※議会報告会・住民説明会・意見交換会など様々な名称がありますが、本資料では「議会報告会」という名称を用いています。

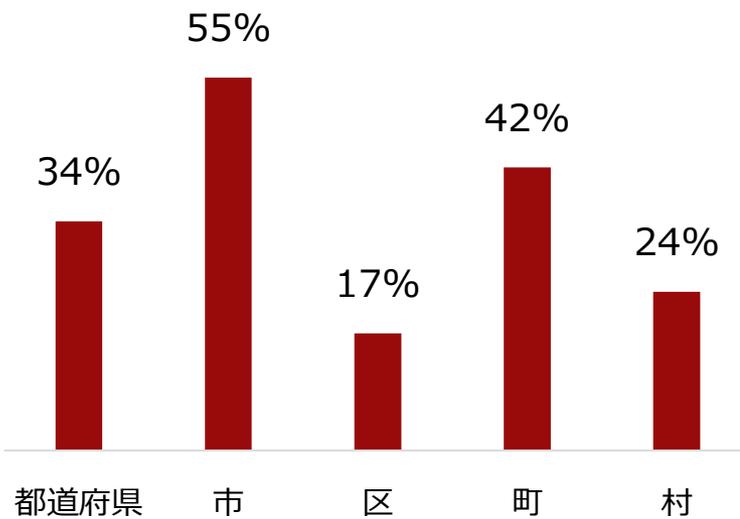
規模別の開催状況

自治体区分別に見ると、開催率にはかなりの開きが見られる。

＜ 議会報告会等を開催している議会の割合 ＞
(再掲)



＜ 自治体区分別の開催率 ＞

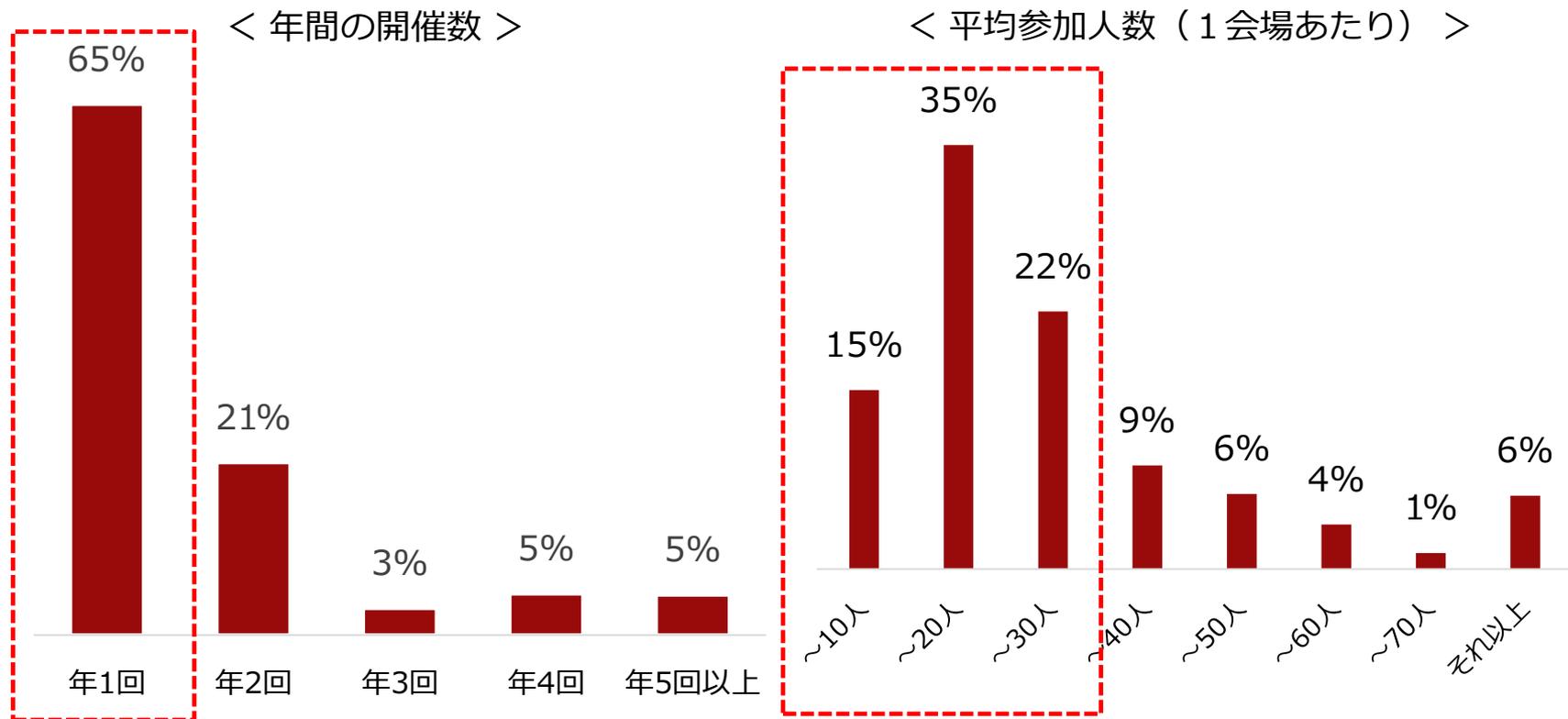


※市議会と区議会は別に集計。

N=668議会 (有効回答1410件のうち、開催していると回答した議会)

年間開催数、参加人数

年間の開催数は1回が最も多い。参加人数は30人以内が大半を占める。



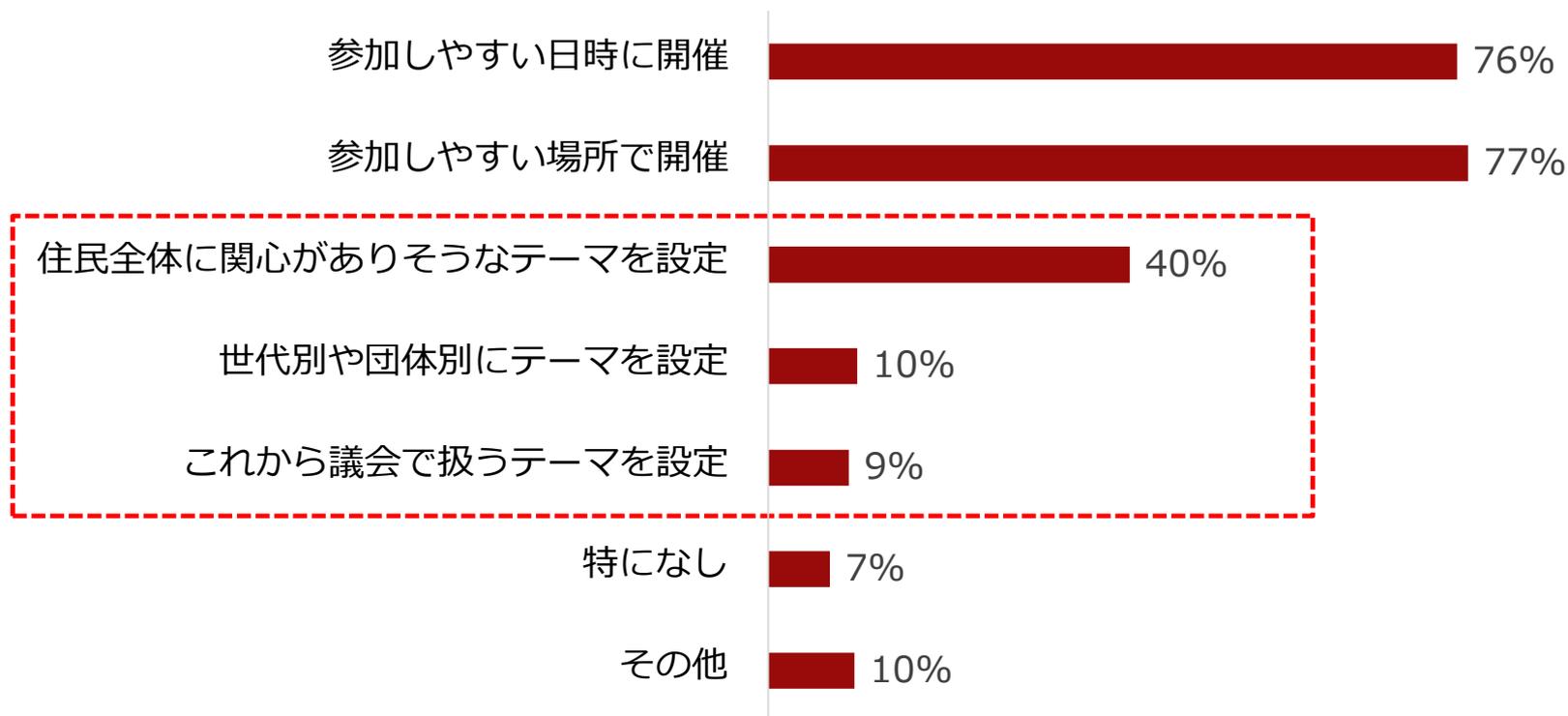
※同一テーマについて複数会場で開催する場合は1回とカウント。

N=668議会（両グラフ共に）

参加者を増やすための工夫

7割以上の議会が参加しやすい日時または場所を設定。
特定の住民向けに関心の高いテーマを設定（10%）したり、今後議会で議論するテーマを設定（9%）する議会も。

< 報告会等への参加者を増やす工夫 >

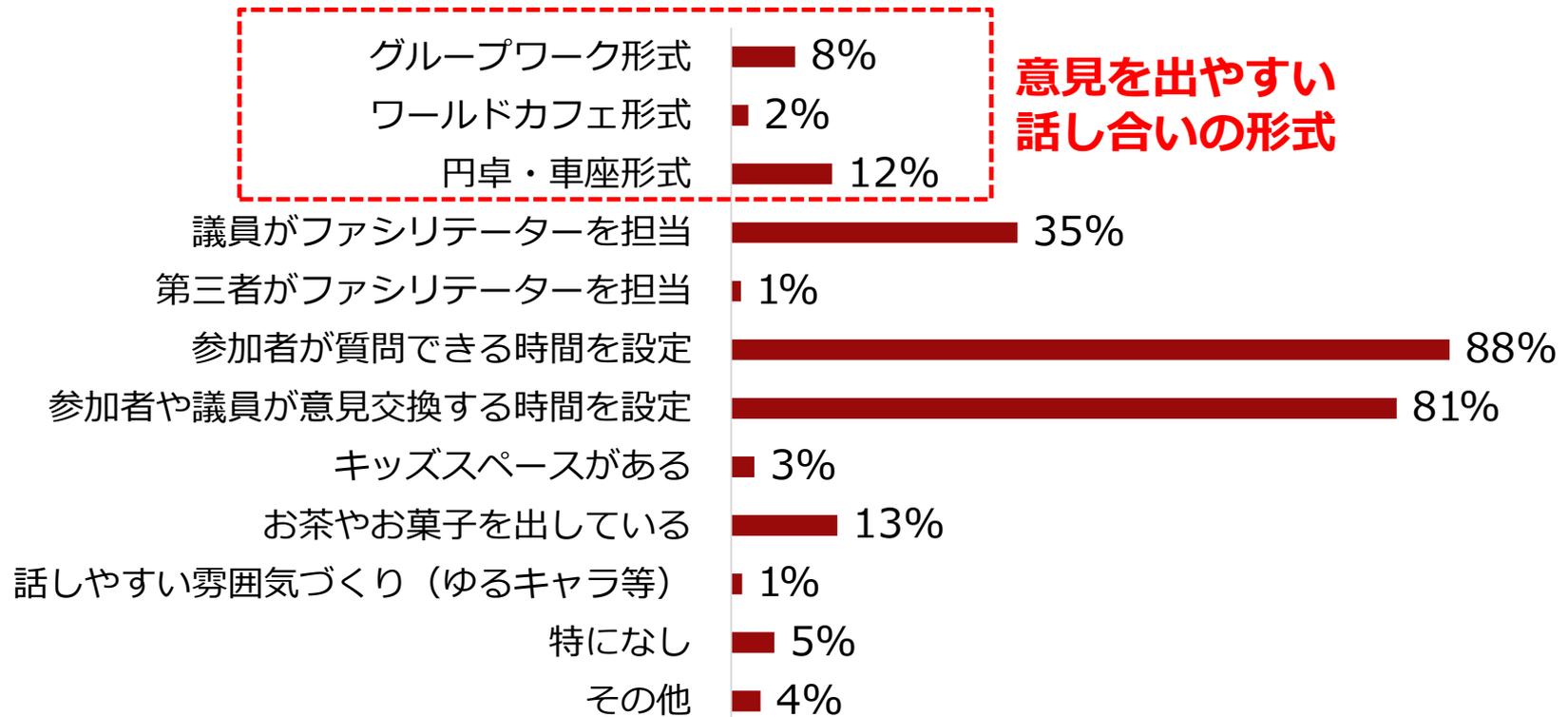


※複数回答。N=663議会

意見交換を充実させる取り組み

約8割の報告会で質問あるいは意見交換の時間を設け、単に「報告」としない取り組みが見られる。一方、意見を出しやすいグループワーク、ワールドカフェ、車座などの活用はまだ少数にとどまる。

< 報告会での意見交換を充実させる取り組み >

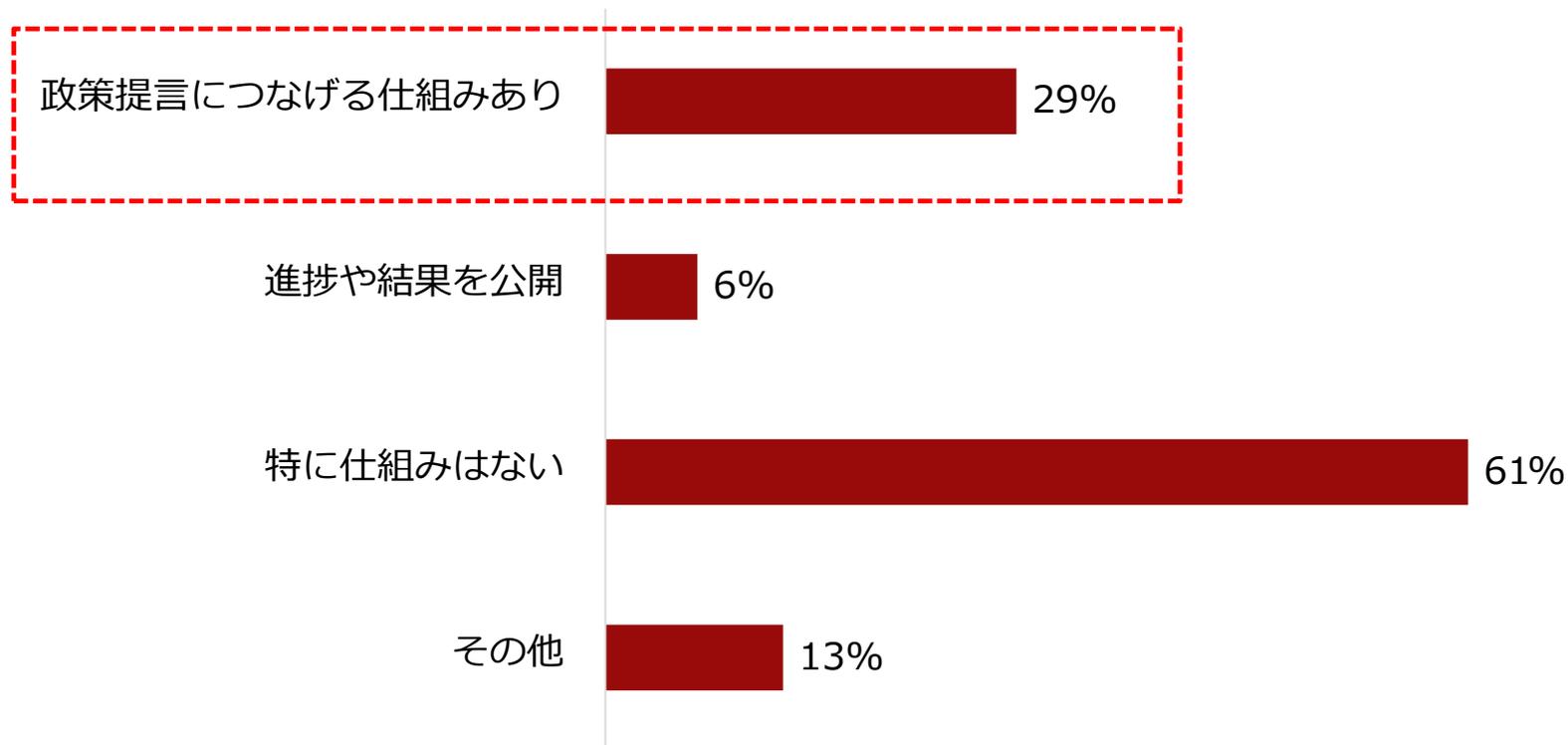


※複数回答。N=662議会

報告会の意見を政策につなげる仕組み

議会報告会等で意見が出て、政策提言につなげる仕組みがあるのは3割以下。

＜ 報告会で出された意見を政策につなげる仕組み ＞

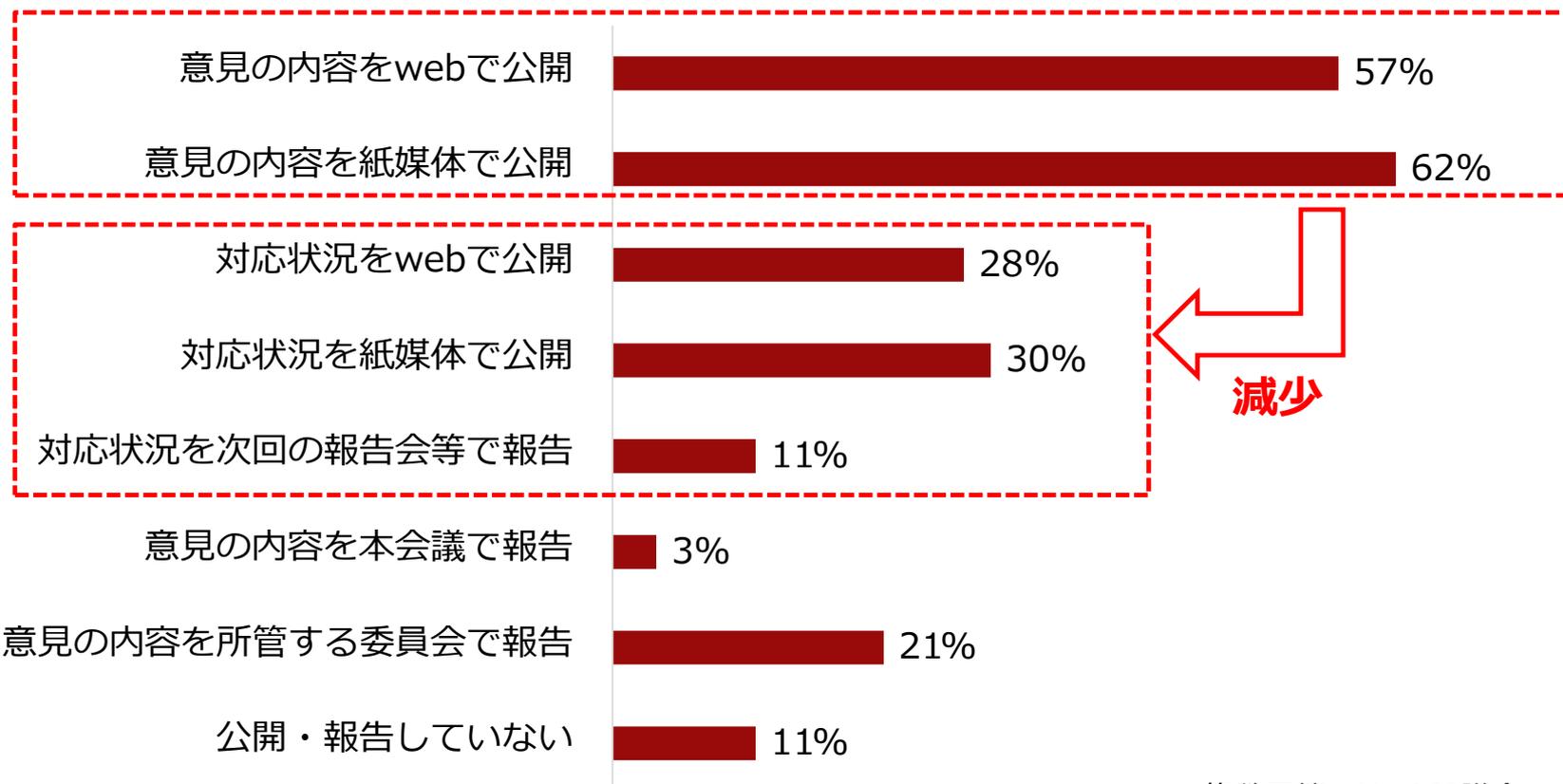


※複数回答。N=664議会

意見・対応状況の公開状況

報告会で出された意見について、半数以上の議会で公開されている。
しかし、対応状況の公開は3割以下。

< 報告会で出された意見へ対応状況の扱い >



※複数回答。N=663議会

例：東村山市議会

議会報告会開催後に、「**成果と課題**」をwebサイト上で公開し、**継続的な改善**を続けている。例として、開催形式は対面型の報告会だったが、車座やグループワークを取り入れるなど試行錯誤をしている。

< 対面型 >

当初は対面型で報告会を実施



議題と成果

更新日：2019年6月21日

- 「よまこ」議会報告会へについて
 - わかりやすく伝える取組を継続している。
 - 参加者への理解の基があるため、子どもも理解できるような「議会のしりとり」やホームページコンテンツの作成につながり、成果となっている。
- 議会報告会について
 - できるだけ簡潔な内容にして聴く人が、あとにわかりやすく伝える方法を工夫する必要があり、見れば理解できるスライド資料、パンフレットのある方への対応のさらなる工夫等。
 - 報告する内容や質問などを事前に知らせ、検討しているのかわからない。
 - 平日議員がご来場を確保し事前に「よまこ」スームスになるのではない。
 - 平日議員がご来場を確保し、事前に検討すること。
- グループディスカッションについて
 - 定期的な実施、時間短縮しては意見が出しやすかったのではない、議会としても委員の理解がやすかった。
 - テーマもつけて話し合ったことで、相違点も意見が多くなっていった。意見からも好評であった。
 - 一方で、フリーで質問する機会は限り以上に必要であった。
- その他
 - 平日議員がご来場を確保し、2日目は自身の得意分野が得意な形式があった。
 - 他の議員への対応、スペースの確保を検討している。
 - 出席者への感謝（お礼状）の配布、出席者に対して感謝状が必要である。
 - 11月、8月定例会議後、予算や決算を聞き、案件の分量が多くなる。
 - 出席者への感謝状と全席での意見交換（1時間程度）の開催が必要ではないか。
 - 出席者への感謝状と全席での意見交換（1時間程度）の開催が必要ではないか。
 - 出席者への感謝状と全席での意見交換（1時間程度）の開催が必要ではないか。
 - 出席者への感謝状と全席での意見交換（1時間程度）の開催が必要ではないか。
 - 出席者への感謝状と全席での意見交換（1時間程度）の開催が必要ではないか。
 - 出席者への感謝状と全席での意見交換（1時間程度）の開催が必要ではないか。

「成果と課題」を公開、改善へ

< 車座形式 >



議員・参加者の距離感を縮め、より意見交換をしやすい形式へ改善

< グループワーク >



出典：東村山市議会webサイト、および東村山市議会提供資料

<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/gikai/katsudo/gikaihoukoku/index.html>

例：堺市議会

第1部は議会活動の説明とし、第2部では**各常任委員会ごとにテーマを設定**、住民との意見交換をワールドカフェ方式で実施している。

これまでは本会議場で報告会および意見交換を実施。



第4回報告会の様子



第5回より第2部はワールドカフェ方式の意見交換会を採用。6つの常任委員会ごとにテーマを設定し、意見交換の後、発表を行った。



出典：堺市議会webサイト、および堺市議会提供資料
http://www.city.sakai.lg.jp/shigikai/kaigi/gikai_houkoku/gikaihoukoku271025.html

例：上越市議会

参加者から出された意見、当日の回答、議会としての対応方針、行政への申し入れ内容を**web上で公開**。

＜参加者からの意見と回答、対応方針＞

開催日等	いただいたご意見	当日の回答	議会（課題調整会議）の対応方針
H27.05.27 高田区	清里区山荘京ヶ岳の休止など、13区の施設の休止方針が目立つ。これにより地域が疲弊していくことを懸念するが、地域の想いを議会では理解しているのか。	市議会でも地域の想いは理解している。しかし、多くの施設があり、赤字運営には税金を充てているため、一定の再配置はやむを得ない。今後も地域協議会や地域との話し合いは行っていくことになるが、議会ではしっかりと監視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする
H27.05.27 高田区	赤字だからといって公の施設を廃止するという考えでは、地域の人は暮らしていけない。何とかならないか。	赤字にならないよう、まずは地域の人が施設を利用することが大事である。その状況も含め、議会として議論していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする
H27.05.27 高田区	公の施設の再配置について、施設経営の収支だけで判断せず、地元や地元業者等を育成する面も含めて、判断してほしい。	議会でも経営収支だけでなく、多様な視点で判断すべきことと認識している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする

対応方針（委員会等での協議など5種類）を記載

＜行政への申し入れ＞

上議第1022号
平成27年12月17日

上越市長 村山 秀幸 様

上越市議会議長 佐藤 敏

市民と議会の意見交換会で聴取した市民意見への対応について

市議会では、上越市議会基本条例に基づき市民と議会の意見交換会を11月12日・13日に開催し、4会場で寄せられた55の意見等について、課題調整会議においてその対応方針を協議いたしました。
つきましては、課題調整会議で行政運営の参考にしていただきたい「意見等」を整理しましたので、下記のとおりお知らせいたします。
なお、意見や対応方針等については、議会だよりや議会のホームページで公表していきますのでご承知おきください。

記

1 行政運営の参考にしていただきたい意見等 【7件】
(1) 将来的な介護施設の不足を見据えた、二世帯住宅建設への支援について
「これから団塊世代が介護を受けることにより、介護施設の不足を懸念する。そこで、多世代が支え合って生活することを促す施策の一つとして、二世帯住宅の建設に補助をしてはどうか。」（保倉区）

行政への申し入れをする場合も

出典：上越市議会webサイト 議会報告会・意見交換会
<http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/gikai/gikaihoukokukai.html>

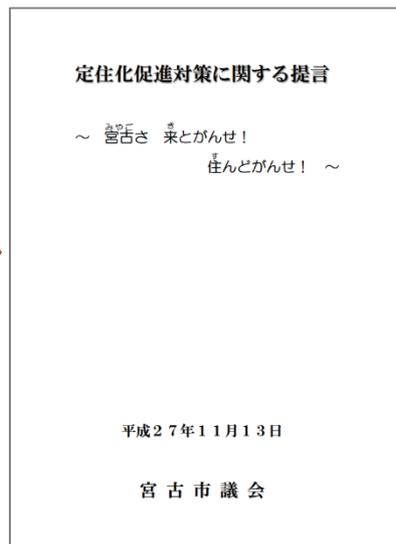
例：宮古市議会

「ストップ!!人口減少」をテーマに、概ね**40代までの市民**と「議会とわくわくワークショップ」を開催。人口減少対策や定住化促進のアイデアなどを話し合った。

最終的には「**定住化促進対策に関する提言**」として市長に提出。

模造紙とポストイットを使い、各グループで出されたアイデアや意見を見える化。

提言書として市長に提出された。提言書ではワークショップについても紹介されている。



出典：宮古市議会webサイト 議会とわくわくワークショップ開催結果
http://www.city.miyako.iwate.jp/gikai/gikai_workshop_1.html

例：一関市議会

「市民と議員の懇談会」を一般の部と高校生の部に分け**29会場**で実施。

一般の部：誰でも参加できる **自由参加の部** と特定団体と懇談する **団体の部** がある。

高校生の部：市内9校の高校生と各学校等で実施。

→それぞれをまとめ、

「市民と議員の懇談会に基づく提言」として市長に提出。



市長に提言し、懇談なども行っている

出典：一関市議会webサイト 市民と議員の懇談会
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7,72881,88,html>

種別	地域別	参加相手	月日	時間	場所	参加人数
1種	川崎地区	自由参加	11月18日(日)	午後3時30分～3時	川崎市民センター研修室	13
		ドンと市かわさき協同組合	11月18日(日)	午後4時～6時	川崎市民センター研修室	16
		自由参加	11月21日(土)	午後2時～4時	東山地域交流センター大会議室	26
東山地区	東山地域中中学校PTA会員	11月21日(土)	午後3時～8時	東山地域交流センター大会議室	10	
	自由参加	11月11日(水)	午前10時～12時	花巻総合福祉センター和室	7	
2種	花巻地区	花巻町行政委員会	11月11日(水)	午後2時～4時	花巻天所東大会議室	31
		自由参加	11月22日(日)	午後2時～4時	関が丘ユニティセンター体育室	14
一関地区	一関地区	若狭青年部 認定農業者の会	11月22日(日)	午後6時～8時	一関市役所大会議室	18
		自由参加	11月22日(日)	午後3時30分～3時30分	千代市民センター大会議室	20
3種	千代地区	千代町まもつてり団体連合会	11月22日(日)	午後4時～6時	千代市民センター大会議室	10
		自由参加	11月22日(日)	午前10時～12時	飯沢市民センター大会議室	19
鹿沼地区	鹿沼地区	鹿沼町住民自治協議会	11月22日(日)	午後3時30分～3時30分	鹿沼市民センター東海分館和室	15
		自由参加	11月21日(土)	午前10時～12時	大東コミュニティセンター第1研修室	24
4種	大東地区	大原自治公民館等連合会、大東町婦人協議会等	11月21日(土)	午後2時～4時	大原市民センター大会議室	24
		自由参加	11月18日(日)	午前10時～12時	一関学習交流館研修室	17
一関地区	一関地区	一関商工会議所青年部 一関青年会議所	11月18日(日)	午後2時～4時	一関市役所大会議室	7
		自由参加	11月22日(日)	午前10時～12時	雲梯会館ふれあいセンター	10
5種	雲梯地区	雲梯地区 雲梯園小中学校PTA会員	11月22日(日)	午後3時～3時	雲梯会館ふれあいセンター	9
		自由参加	11月22日(日)	午前10時～12時	一関市民センター滝沢分館	26
一関地区	一関地区	一関南郷小中学校PTA会員	11月22日(日)	午後3時30分～3時30分	一関市役所大会議室	27
						334

懇談会開催状況

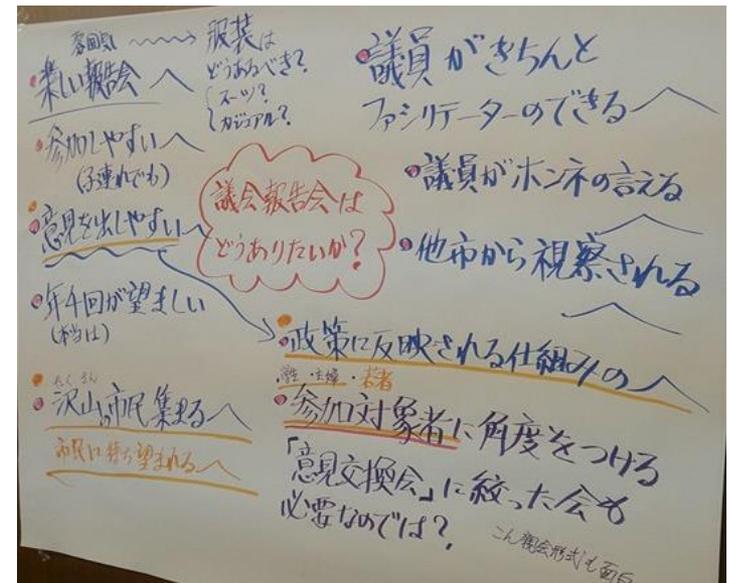
例：青森市議会

議会報告会に先立ち、**外部講師を招いて議員の研修を開催**。テーマを「議会報告会のありたい姿」に設定することで、議員間でビジョンを共有するとともに、ファシリテーションの訓練を実施した。

テーマ「議会報告会のありたい姿は？」



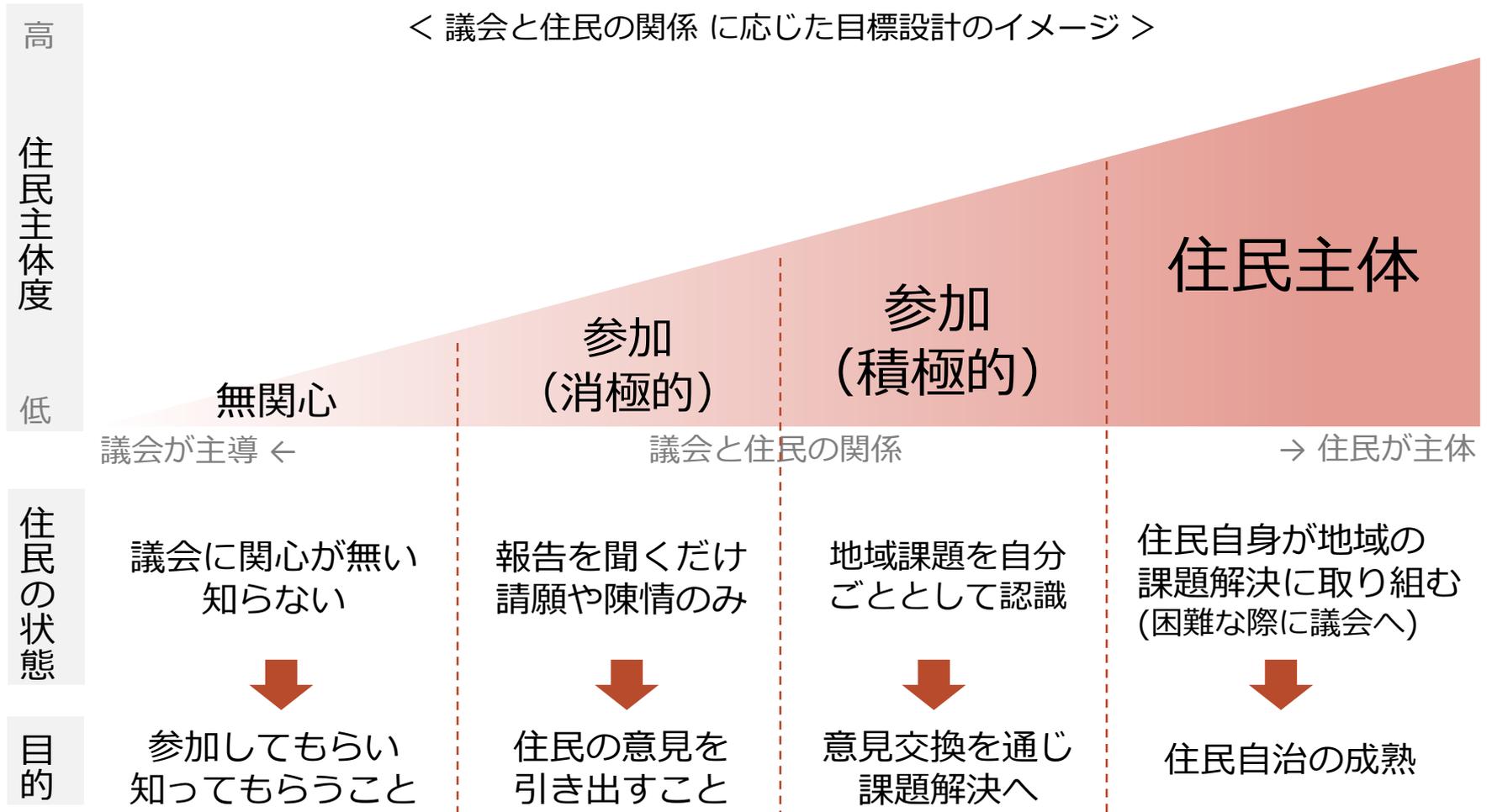
出された意見



「住民主体」へのステップ

意見交換会の目的は住民主体度の段階によって異なる。

< 議会と住民の関係 に応じた目標設計のイメージ >



提 言

- 「何のため」に開催するのか**目的を明確に**すること。
『報告会』という表現は目的に合わせて変えること。
- **意見を聞きたいターゲットに合わせて**、日時、場所、テーマ設定をすること。一般的に参加者の年代は高くなるため、10～40代対象の意見交換会の設計を工夫すること。（託児スペースなど）
また、意見を出しやすい**雰囲気づくり**も重要。
- 住民との意見交換の場が盛り上がるよう、**ファシリテーションスキル**を習得すること。または、**第三者**を入れること。
（最終的には住民がファシリテーターを務めるのが好ましい）
- 開催後には、目的をどの程度達成したのか**振り返り、次の活動につなげる**こと。
（例）住民意見が聞きたい ⇒ 聞いてその後どうしたのか？ （そもそも何のために聞きたいのか？）

今後について

今後、「議会改革度調査2015」に関する分析結果は、当研究所webサイトに順次公開していきます。

早稲田大学マニフェスト研究所
<http://www.maniken.jp/gikai/>

また、効果的な議会報告会の手法やファシリテーションのスキルアップ等について「議会として研修を行いたい」と考えている議会の皆様は、当研究所までお問い合わせください。

<お問合せ先>

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 西川、永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp